

西山 直樹さん（岡山市北区）

JICA 草の根技術協力事業

案件名：カンボジア王国 中学校体育科

教育指導書作成支援・普及プロジェクト

実施団体：特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド

実施国：カンボジア王国

2020年5月3日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

「新しい体育」普及に力

NPO 法人「ハート・オブ・ゴールド」は、2006年からカンボジアの教育・青年・スポーツ省（教育省）と協力し、14年をかけて小中学校体育の学習指導要領・指導書の作成支援をしてきた。

現在は国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業として、三つのモデル地域を選定して教員への研修などを実施し、中学校で「新しい体育」の普及事業を実施している。新しい体育は授業を通じ運動能力だけでなく、社会に出てからも役立つ「態度・知識・技能・協調性」を学ぶ。



自作の卓球台でプレーする生徒

スバイリエン州のバサック中では16年の中学校学習指導要領の完成後、18年3月に新しい体育を導入。体カテストを実施し、卓球など新種目にもチャレンジし始めた。卓球台やラケットがないため、机や黒板を利用してオリジナルの卓球台、ラケットを作った。

体育の先生は「最初は分からなかったが、研修に参加するたびに少しずつ理解が深まった。教育省が定めた学習指導要領だから従う必要がある」と責任感を持って取り組んでいる。校長先生は「先生が自分たちから研修の成果を報告し、新しい体育を実践し始めた」と体育の先生を信頼する。実践には、先生たちの意欲が何より重要である。

カンボジアには約1700校の中学がある、全中学に新しい体育を普及するには、先生間、学校間でのネットワークづくりも重要となる。バサック中のような意欲のある学校が増え、先生が自分たちで普及の道を歩むことを心から願っている。